

アンケート調査

回 答 編

実施日 令和5年1月12日～令和5年1月20日
 対象家庭 67 家庭
 回収結果 44 家庭 66%

No	質 問	は い	どちらとも いえない	いいえ
1	お子様は、楽しく保育園に通っていますか	100%	0%	0%
2	お子様は、クラスの友達や保育園の生活に馴染めていますか	100%	0%	0%
3	お子様は、保育士に親しみや信頼を感じているようですか	98%	2%	0%
4	お子様の気持ちや様子、子育てなどについて職員と話したり、相談する事が出来ますか	94%	6%	0%
5	お子様の園での様子や健康状態を、きちんと伝えられていると思いますか	94%	6%	0%
6	職員は、礼儀正しく丁寧に対応していますか	96%	4%	0%
7	保育中の発熱など病気への対応は適切ですか	100%	0%	0%
8	お子様の発育や意欲を促すような活動、遊び等が行われていると感じますか	98%	2%	0%
9	園生活の様子はホームページ、組だより、玄関ボードなどでも伝えられていると感じますか	98%	2%	0%
10	給食は、旭川市の献立を参考に提供していますが、お子様は、給食を美味しく食べていると思いますか	100%	0%	0%
11	感染症等の衛生管理については、良いと思われませんか	94%	6%	0%
12	安全管理については適切ですか	98%	2%	0%

○園全体として100点満点中、当園は何点だと思いますか

回答平均 97 点

アンケートのご協力を頂きましてありがとうございました。

ご意見ご感想に多く書いて頂いた「子どもが楽しく元気に通えている」「友達と遊ぶのを楽しんでいる」「先生が笑顔で優しい」「温かく接してくれている」「安心して預けられる」という事柄を踏まえて、これからも保護者の皆様やお子さんに、安心して頂ける保育を心掛けていきたいと思っております。

お子さんの事でお聞きになりたい事や、心配されている事があれば遠慮なく声を掛けて下さい。 これからもどうぞよろしくお願い致します。

A=良い B=一部検討を要する C=改善を要する

No	質 問	A	B	C
1	お子様は、楽しく保育園に通っていますか	<input type="radio"/>		
2	お子様は、クラスの友達や保育園の生活に馴染めていますか	<input type="radio"/>		
3	お子様は、保育士に親しみや信頼を感じているようですか	<input type="radio"/>		
4	お子様の気持ちや様子、子育てなどについて職員と話したり、相談する事が出来ますか		<input type="radio"/>	
5	お子様の園での様子や健康状態を、きちんと伝えられていると思いますか	<input type="radio"/>		
6	職員は、礼儀正しく丁寧に対応していますか	<input type="radio"/>		
7	保育中の発熱など病気への対応は適切ですか	<input type="radio"/>		
8	お子様の発育や意欲を促すような活動、遊び等が行われていると感じますか	<input type="radio"/>		
9	園生活の様子はホームページ、組だより、玄関ボードなどでも伝えられていると感じますか	<input type="radio"/>		
10	給食は、旭川市の献立を参考に提供していますが、お子様は、給食を美味しく食べていると思いますか	<input type="radio"/>		
11	感染症等の衛生管理については、良いと思われませんか	<input type="radio"/>		
12	安全管理については適切ですか	<input type="radio"/>		

令和4年度 職員自己評価

自己の評価は、日頃保育に関わっている者として自分の保育を確認し、気づき問い直すきっかけを作るものと考えており、評価の判断基準は自分です。自分の保育を客観的に見て改善し、職員みんなで共通の意識を持つ様にしており、以下の項目を自身で評価しました。

評価方法は、A、十分理解している（十分出来ている）B、理解している（出来ている）C、努力が必要な3段階です。

内	容
◎ 子どもの発達	
①	保育指針に基づく子どもの発達過程のおおむね8つの区分を理解し、一人一人の発達に合わせ援助していくことの重要性を理解している。
②	発達過程に「おおむね」がつくことで、個人の発達には幅があり、前後の年齢に繋がりをもって成長している事を理解している。
③	家庭環境の差、身体能力の差、精神的成長の差から生じる、子ども一人一人の違いを理解している。
④	一人一人とコミュニケーションをとり、信頼関係を築いている。
⑤	自分を表現する力が十分でない子供の気持ちを汲み取るようにしている。
⑥	禁止語を不必要に用いないようにしている。
⑦	登園時に泣く子に対して、子どもの状況に応じて優しく声を掛けたり、抱きしめたりしている。
⑧	日々の生活の中で、子どもが安心感と自己肯定感を持てるような言葉がけをしている。
⑨	子どもの心身の癒しがなされるように配慮されている。
◎ 保育の内容	
①	一人一人の健康状態や発達について把握し、異常に気付く事が出来る。
②	個人と集団で行う活動の違いを熟知し、子ども達が人間関係を築ける機会を作っている。
③	個性、特性を十分に理解すると共に子ども達が自ら発言できる機会を作っている。
④	相手の言葉に耳を傾け、意見を尊重出来るよう子ども達に指導が出来る。
⑤	人の命の尊さを教え、他者をいたわり大切にする気持ちを養う保育が出来る。
⑥	大きな自然、小さな自然、あるいは街中の様子などから、まず保育士自身が季節の変化を感じ取る感受性を大事にしている。
⑦	子どもの知的要求の変化に気づき、探求心、知的好奇心を満たしたり、引き出したりするような会話や配慮をしている。
⑧	保育士自身が豊かで美しい言葉を使用し、思いを込めて会話するよう心掛け、人の話を聞く態度を身に付けさせることが出来る。
⑨	子どもが、自分の話を十分聞いてもらった、伝わったという楽しさや満足感が持てるように配慮している。
⑩	基本的な生活習慣に基づいた挨拶など、日常生活に必要な言葉を丁寧に使う事が出来る。
⑪	子ども達の興味や関心に沿った絵本や物語を用意出来る。
⑫	探求心を満足させ、観察力を育てる保育の環境設定に配慮している。
⑬	日々の保育の中で、感動や発見が出来るよう、変化に富む保育内容に配慮している。
◎ 保育の計画及び評価	
①	目標は、前年度の反省を生かしている。
②	目標は、全員で検討し、かつ共通理解を図っている。
③	保育過程に基づいた具体的な指導計画を作成出来る。
④	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり、個々の発達にも留意した物を作成できる。
⑤	保育士は、自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めなければならない事を理解している。（計画・実施・評価・改善）
◎ 健康及び安全	
①	子どもの感染症やその他の疾病についての知識を持ち、必要な援助が出来る。
②	基本的なアレルギーの種類（食物・接触・薬）や特性について理解している。
③	無理なく好き嫌いをなくす援助が出来る。
④	食べることの意味や命について考える機会を作っている。（人の命、動物の命、植物の命）
⑤	食事のマナーを子供や保護者に伝えられる。
◎ 保護者に対する支援	
①	日々、信頼を得られる行動をしている。
②	保護者の思いを受け止め、様々な思いの相談・依頼に適切に対応している。
③	保護者の話を落ち着いて聞き、状況、問題点を把握できる。
④	手紙、公文書などの基本的な書き方を知り、誤字、脱字の無い内容が正確に伝わる文章が書ける。
⑤	早番や遅番で保護者からの伝達事項がある時は、メモを取り、確実に担任に伝えている。
⑥	職員会議等で各クラスの状況報告を聞き、担任ではなくても各クラスの様子を把握している。
⑦	保護者、入所児童、又職場に関する秘密は絶対に他言しない。

◎ 職員の資質向上

- ① 保護者、来客に対して季節・時間に合わせた好感の持てる挨拶が出来る。
- ② 正しい言葉使いが出来る。
- ③ 電話が鳴ったら早く出るようにしている。
- ④ 電話の要件は間違えないようメモに残し、確認や伝達を行っている。
- ⑤ 周囲の人や来客に清潔感を与える応対や身だしなみを実践している。
- ⑥ いつも笑顔で対応できる。
- ⑦ 子どもの発達段階を意識し、活動的で子どもが心地よく感じる服装を心掛けている。
- ⑧ 髪が顔にかかったり、爪が伸びたり等、不衛生にならないよう日頃から心掛けている。
- ⑨ 睡眠を十分にとり、勤務に支障をきたさない規則正しい生活を送っている。
- ⑩ 体調異常の時は、速やかに通院している。
- ⑪ 日常生活で、保育士としての度を越す言動をとらない。
- ⑫ ハラスメントや虐待など保育士にあるまじきことをしない。
- ⑬ 保育園及び職員の不満を他言しない。
- ⑭ 勤務開始時間の10分以上前に出勤している。
- ⑮ 指導計画をもとに、日々の乳幼児の状況に沿った保育をしている。
- ⑯ 毎朝行事予定表・日案に目を通し確認、記憶している。
- ⑰ 自ら進んで勤務を完全遂行する、積極的な姿勢がある。
- ⑱ 担当勤務以外でも自ら気づき、声を掛けあい協力している。
- ⑲ 会議などで積極的に発言出来る。
- ⑳ 「みんながやっているから」「以前からの慣例だから」と言う思いにとらわれない。
- ㉑ 自分だけの不都合かどうか、客観的に見る事が出来る。
- ㉒ 人間としての資質を磨く様に努力する意欲がある。
- ㉓ 保育士としての基本である研修に取り組む意欲を持っている。
- ㉔ 苦手な分野の情報や研修を知ろうとする意欲がある。
- ㉕ 保育行政や他施設の保育内容に関心がある。
- ㉖ 保育に関する情報誌、専門書またはインターネットなどの外部情報を取り入れてる。
- ㉗ 研修報告などで気づいた事を自分の業務に反映出来る。
- ㉘ 他人の意見に耳を傾け「聴く」という事が出来る。
- ㉙ 相手がどのような思いで意見を発し、行動を取ったか考える事が出来る。
- ㉚ 保護者の様々な職業を理解し、相手の立場に立った考え方が出来る。
- ㉛ 長時間保育の保護者にねぎらいの言葉をかけている。

☆ 評価結果

概ねA、十分理解している（十分出来ている）が多くいました。その中で、評価内容について考えました。

◎「子どもの発達」

④は昨年よりもA評価が増えており、子ども達一人一人に目を向けて信頼関係を築いていこうという意識が保育士に根付いていると思えます。⑥の言葉使いに関して、子どもの気持ちになり、肯定的な言葉を使って話すことを心掛け、その大切さを十分理解したうえでも、子ども達同士の喧嘩や危険な行為を止める時、日常生活習慣の確立の為に繰り返される言葉掛けなどに、時として難しさを感じているようです。この事は、◎「職員の資質向上」②にも繋がっていました。⑦の登園時に泣いてしまうお子さんへの対応は、一時預かり利用のお子さんも含めて、個々の状況に合わせた対応を心がけていました。

◎「保育の内容」

子ども達を指導する者として手本となれるように、様々な面で知識を深め、研修に行くなど個々に資質を高めていくと考えており、この事は「職員の資質向上」にも繋がっていました。

⑦⑨の事柄では、子ども達の話に耳を傾け、何に興味を持つのか、楽しさを感じるのか、その姿をよく見て感じ取れるよう実践しており、自己の評価も高くなっていました。

◎「保育の計画及び評価」

①②に関して、昨年度の反省点を振り返る話し合いや、共通の意識を持って進めていく事の大切さを実感していました。

◎「健康及び安全」

食に関心を持てるように食べる事の大切さ等伝えており、アレルギーの特性理解やウイルス対策も含め職員の意識が高まっています。

◎「保護者に対する支援」

送迎の際、お子さんの園での姿を伝える事から、信頼関係を築き、相談に繋がっていくように考えている職員が多くいます。想いが確実に表れるよう努力を期待します。⑦は、全員がAであり、十分に認識していました。

◎「職員の資質向上」

勤務年数が上がるにつれて、広い範囲に目を配る様になり、資質向上の為の事柄を自身で取り組みながら、年数の浅い職員に伝えていく事を心掛けていました。㉘㉙は全員がAを付けており、相手を思いやる気持ちが表れていました。

☆ 上記の評価を踏まえたうえで、自分自身が心掛けている事や今後の課題について。(抜粋)

職員が思う「この園の良いところ」では、・明るい・元気・笑顔・優しさをあげる人が多くいました。又、子ども達と接する上で、「平等」「スキンシップ」「聞く耳を持つ」という事柄がプラスされていました。

個々の心掛けや今後の課題について抜粋します。

- ・一人一人の生活リズムを理解し、成長、発達を少しでも伸ばしていけるよう努める。
- ・子ども同士の関係を作れるよう配慮したり楽しい保育を意識する。
- ・常に笑顔を心掛け、子どもの気持ちを受け止めて否定しないようにしている。
- ・子ども達一人一人の表情、言動、行動に目を配り、対応する。
- ・年齢に応じた保育を心掛け、無理させず、楽しい気持ちを大切に共に楽しむようにしている。
- ・子ども達が日々楽しい保育園生活を送れるように保育を考えて取り入れたり、長時間過ごすお子さんが少しでも居心地の良い場所となるように環境整備に取り組んでいる。
- ・日々の自分の教育者としてのふるまいを振り返りながら職員間や保護者対応でのより良い関係性を高める。
- ・子ども一人一人の成長、発達に合わせた対応や保育が行えるよう努め、継続していく。
- ・先の事を見据えて早めに行動する。